

令和6年1月18日

第70期新人戦・女子部新人戦 実施要項

東京都学生弓道連盟
会長 小笠原 清忠
委員長 酒井 駿輔

1. 日 時

<オンライントーナメント抽選会> 令和6年2月17日(土)

<試合日時> 一回戦	3月3日(日)
二回戦	3月10日(日)午前/午後
三回戦	3月16日(土)
四回戦	3月17日(日)
準決勝	3月23日(土)
決勝・三位決定戦	3月24日(日)

※四回戦がない場合は**当日を予備日**とする。

※天候不順の場合の予備日：後述

2. 場 所 第三者道場にて**対面開催**

3. 参加資格 本連盟加盟大学(本年度は参加校増加のため一大学1チームまで参加可)

4. 出場資格 新人

：東京都学生弓道連盟主催のリーグ戦において、第Ⅰ週から第Ⅴ週、順位決定戦、および入れ替え戦のどの試合にも一切出場経験のない者。選手登録がなされていたり、控え選手として立順用紙に名前が書かれたりしていても、実際に試合に出場していなければ新人である。

5. 競技方法 トーナメント方式

男子：1立6名順立(1選手20射、計120射)

女子：1立4名順立(1選手20射、計80射)

定員(6名、女子は4名)に満たない場合は定員未満の人数

(男子は5名または4名、女子は3名)であっても出場できる。

控え選手は無制限とする。

的中同数の場合は、一手競射により勝敗を決定。

それによっても決定しない場合は、勝敗が決定するまで一本競射を行う。

6. 選手交代 5射目より認める。

選手交代する時には、当該の立が本座に進む前に立合及び相手校に、本連盟の定める書類にてこれを通知しなければならない。

・選手交代があるときは、選手交代をする大学から相手校、立合に**都学連指定の書類**を用いて共有する。正式な書類で受理されていない交代で出た選手の的中、あるいは、交代が受理される前に本座に進んでしまった選手の的中は、**全て外れとなる**ので注意すること。

7. 表彰 団体 上位3大学

個人 皆中賞(20射皆中)

新人賞(男子：20射18中以上、女子：20射16中以上)

8. 試合時間・日程等

試合日程

3月3日(日) 新人戦・女子部新人戦 第1回戦

3月10日(日) 新人戦・女子部新人戦 第2回戦

3月16日(土) 新人戦・女子部新人戦 第3回戦

3月17日(日) 新人戦・女子部新人戦 第4回戦

3月23日(土) 新人戦・女子部新人戦 準決勝

3月24日(日) 新人戦・女子部新人戦 決勝・3位決定戦

※試合日程は参加チーム数によって多少変化する可能性があります。また、トーメント表は2月17日(土)の抽選会にて決定する。

試合時間

午前試合：附矢 9:40~10:20 試合開始 10:40~

午後試合：附矢 14:40~15:20 試合開始 15:40~

※本大会はトーナメント形式のため、正当と判断できる理由に基づく順延は、後述の方式に基づいてのみ行うものとする。

9. 注意点

**以下に記載する情報は、試合を公正かつ円滑に行うために必要不可欠なものである。立
合校・会場校を中心に必ず熟読すること。**

競技校間の連絡に利用するオープンチャットについて

各競技校責任者は、当連盟が別途公表する資料を参照し自身の大学と関係のある試合の番号とそのオープンチャットを確認すること。二回戦以降の試合に関しては、混乱を避けるため、自身の大学が明確にその試合の競技校になると判明した段階でのみ、当該オープンチャットへの入室を許可する。

当該試合の関係校が全て揃い次第、**立合校主体で打ち合わせを開始すること**。会場校が大学へ名簿の提出等が必要な場合がある為、速やかに行うこと。

諸事由による試合実施日の変更や順延について

本大会の競技形式がトーナメント形式であるため、本大会においては「本連盟が天候不順などの理由で全競技校に対して一律に試合の延期を要請した場合」以外は、順延を認めない。

【本連盟が一律に試合の延期などを要請した試合の実施日】

順延後以後の試合全てを、一週間遅らせて実施することとする。

例1) 土曜日の試合に対して延期を要請した場合

- ① 実施予定日が元々土曜日であった試合→翌週の土曜日
- ② 実施予定日が元々日曜日であった試合→翌週の日曜日

例2) 日曜日の試合に対して延期を要請した場合

- ① 実施予定日が元々日曜日であった場合→翌週の日曜日
- ② 実施予定日が元々翌週土曜日であった場合→翌々週の土曜日
- ③ 実施予定日が元々翌週日曜日であった場合→翌々週の日曜日

行射中の選手に対する指導矢声の一部規制について

以下の文言を含む矢声を禁止とする。

- ・上下左右
- ・前後
- ・天地
- ・的を時計の文字盤に見立てた方向(三時、九時等)

これらの文言を含む矢声をかけられた選手の的中は、当該行為以降においての矢を

全て外れとする。

引き直しについて(都学連規約第 45 条)

- ① 引き直しに該当するかどうかの判断は審判(立合)が行う。
- ② 当該校が引き直しを主張できるのは、当該選手が次の矢の打起しを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。
- ③ 引き直しが確定した場合は、全選手が留め矢まで引き、矢取りと確認が行われた後に当該選手が引き直しを行う。

例：大前の二本目が引き直しとなった場合

- ① 当該校から引き直しの要求がかかる。
- ② 立合校がその要求を吟味し、了承する。
- ③ 全選手が留め矢まで引き終わるのを待つ。
- ④ 全員が退場し、確認及び矢取りが行われる。
- ⑤ 主審(立合校)の指導で、引き直しが行われる。

【引き直しとなることが明確な事例】

- ・ ボールなどの障害物が当該選手に衝突した場合
- ・ 障害物が矢道に侵入し、当該選手の的が一時的に見えなくなった場合

※その他、特別な事象が発生した場合は、その都度立合が引き直しに該当するか判断する。どうしても公平な判断が難しいとされる場合には、直ちに本連盟まで問い合わせる。

的中確認のタイミングについて

競技校は、行射中は一本毎に、行射後は矢取り以前に各的の的中を立合に報告しなければならない。

ここで言う行射中の一本ごとの的中確認とは、看的表示のことである。

確認前の矢への接触行為について

確認を行う前に矢または的に接触した場合、その的全ての矢を外れとする。接触行為にあたるかどうかの判断は、対戦校から事実確認の上立合が判断する。

的中確認方法や文言について

【的中確認の文言(原則に則っていれば文言の多少の変更・調整は可)】

的場 「確認します」

立合 「はい。」

的場 「大前()中」

立合 「はい。」

※この時、立合が返事をするまでの場の者は次の的に進まない。

的場 「二的()中」

立合 「はい。」

(中略)

的場 「落()中です。」

立合 「はい、結構です。矢取りお願いします。」

※立合の返事があるまで、全ての矢に**絶対に触れてはいけない**。

新人戦期間中の練習試合の禁止について

新人戦に出場する大学は、新人戦期間中の練習試合を原則禁止とする。

当連盟が定める期日までに、メールにて当連盟の許可を得た場合のみ、練習試合を認める。

※新人戦期間は「**3月2日(土)～3月24日(日)**」までとする。

※申請期日は練習試合実施予定日一週間前までとする。

例：3月17日に練習試合を行う場合は、3月10日の23時59分までに申請。

女子の選手について

新人戦には女子の出場も可能とし、女子出場人数の上限は設けない。また、新人戦に出場した女子選手は20射16中(女子部新人戦の基準)で新人賞獲得とする。

新人戦に出場した女子の選手は女子部新人戦に出場することは出来ないので注意すること。

10. 選手登録

① 選手登録方法概要

：全日本学生弓道連盟ウェブサイト 大会選手登録

② 全日本学生弓道連盟ウェブサイトにおける大会選手登録

・大会選手登録期間：2024年2月1日(木)~2月16日(金)23:59

・大会選手登録は全日本学生弓道連盟ウェブサイトにて行う。詳細は全日本学生弓道連盟より配布されている大会選手登録マニュアルを参照すること。

・部員登録がなされていない部員が期限内に大会選手登録を行うためには、大会選手登録期間中に追加部員登録を全日本学生弓道連盟のウェブサイトから行う必要がある。

・チーム選択は全て「Aチーム」とする。

※注意点

氏名の漢字、ふりがな、学年正しいか確認すること。

万が一違っている場合は、全日本学生弓道連盟に修正依頼すること。